県民会議構成団体紹介の神奈川県ホームページへの掲載について

１　目的

第20回県民会議において、県民会議の活動紹介の一環として現在の県ホームページ（県民会議についてのページ）に、県民会議構成団体の概要や主な取組みを掲載することとなりました。令和４年２月に団体選出委員の方にホームページへの掲載希望や掲載内容について伺い、提出していただいた内容をまとめましたので報告します。

〇掲載内容

（１）団体概要

（２）バリアフリーの街づくりについての取組みやメッセージ等

（３）その他（イベント情報、その他掲載を希望する内容等）

（４）連絡先（電話番号、FAX番号）

（５）ホームページURL

※（１）～（３）は合わせて500文字以内

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 | 内容 |
| 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会 | （１）県内（横浜市、川崎市を除く）の身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を実施し、障害者の自立を支え、障害者の暮らしやすい共生社会実現に向けて活動しております。また、日本身体障害者団体連合会等と連携しながら、国等へ要望活動をしています。（２）県内市町村身障団体会員による、公共施設や経路等のバリアフリー状況確認を行っています。（３）障害者の社会参加を促進するための事業（講演会、講習会、文化芸術祭など）及び障害者スポーツ振興事業を実施しています。詳しくはＨＰにてご確認ください。（４）電話番号：045-311-8736FAX番号：045-316-6860（５）http://kanagawa-kenshinren.or.jp/ |
| ＮＰＯ法人　神奈川県視覚障害者福祉協会 | （１）当協会は、昭和23年（1948年）に設立し、70年以上にわたる長い歴史をもち、視覚障害者の生活擁護と、同じハンデを持つ者同士が協力して、視覚障害者の生活や福祉に関する問題解決にあたることを目的に結成された団体です。現在県内には横浜、川崎、相模原市を含め18000人の視覚障害者が県民の一人として生活しております。近年視覚障害を負う者が年々増加の傾向にあり団体としての果たすべき役割はますます増大し、より重要になりつつあります。本協会ではこれらの実情を踏まえ、また結成当初の目的を達成すべく、様々な事業を積極的に推進しております。（２）１　福祉制度面でのバリアフリーとして、市町村広報誌や通知文書などの点字化やメールでの送信を進めています。２　交通機関や街つくりの面で、音響信号機の増設、点字ブロックの敷設などの視覚障害者向け改善の要望の実施３　移動や代筆代読に関する制度の充実や従業者の養成の実施等を事業として実施しています。（３）年間を通じて、福祉大会、文化の集い、研修会、講習会等を行うと共に、障害があっても参加できるボウリング大会やハイキング、ピクニックなどを実施 （４）電話番号：046-205-6040FAX番号：046-205-6972（５）http://www.npo-kanagawa.org/ |
| 公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会 | （１）当協会は、県内における聴覚障害者と手話に対する理解の普及および聴覚障害者の社会参加の促進と安心して暮らせる生活環境の整備を目的として、様々な活動を行っています。（２）聴覚障害者のバリアは、ほとんどが情報とコミュニケーションのバリアであり、建物や道路などのハード面に比べてバリアフリーが進んでいません。聴覚障害者のバリアをなくすためには、まず聴覚障害について理解してもらい、そして手話や文字などの情報伝達、コミュニケーション手段について知ってもらうことが必要です。一人でも多くの県民に聴覚障害者について理解してもらい、聴覚障害者のバリアをなくしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。（４）電話番号：0466-26-5467FAX番号：0466-26-5454（５）https://kanagawa-a-deaf.org/ |
| 神奈川県手をつなぐ育成会 | （１）「手をつなぐ育成会」は、知的障害児者の家族や支援者で構成された団体です。障害があっても1人ひとりの意思が尊重され、人権が守られ、生涯にわたって安心して暮らすことができることを願って活動しています。（４）電話番号：045-323-1106FAX番号： 045-324-0426（５）https://www.ikusei-kanagawa.jp |
| 公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会 | （１）神奈川県内の31の市町村老人クラブ連合会を会員とする連合体です。老人福祉法の精神に基づき、県内の老人クラブ活動の充実、高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの推進を目的としています。（４）電話番号：045-311-8737（５）https://www.yumekurabu.or.jp/ |
| 認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド | （１）市民・企業・団体等の思いを寄付の形でお預かりし、子ども・若者・子育てを支える市民団体に助成金として届けています。そして、助成団体の成果や活動から提起される課題などを寄付者や関係機関等にフィードバックするという「資金と思いの循環」に努めています。また、子どもの抱える課題をイベントやセミナー等で広く社会に伝え、誰ひとり取り残さない地域社会の実現に取り組んでいます。（２）コロナ禍の中、子どもの未来を阻むバリアは更に高くなっています。陽だまりともいえる地域の安心できる居場所と人と食の必要性も増しています。場を支えるための助成支援や啓発事業に今後更に力を入れていきます。（３）・助成選考委員会開催。・団体検索Webページ「子どもの居場所情報箱」　　　　　　　　・「[子ども未来セミナー](https://www.kodomofund.com/seminar/)」虐待・貧困・いじめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・「[ピンクシャツデー in 神奈川](https://www.kodomofund.com/pinkshirtday/)　いじめストップ！」ワールドアクション（毎年2月開催）・ヨコハマアコフェスVol.1２　(令和4年5月7日開催)（４）電話番号：045-212-5825FAX番号：045-212-5825（５）http://www.kodomofund.com |
| 一般社団法人神奈川県建築士会 | （１）建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善、社会公共の福祉増進を目的としています。（４）電話番号：045-201-1284（５）http://www.kanagawa-kentikusikai.com |
| 公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会 | （１）当協会は、神奈川における住まいづくり及びまちづくりに関する調査研究、普及啓発、各種相談、人材育成及び支援活動などを行うことにより、県民の安心、安全なすまい・まちづくりを推進しています。（２）高齢者や障害者が安心して住み続けることのできる住宅とするためのバリアフリーリフォームについて、住宅事業者を対象に適切な工事内容や最新の設備機器等に関する研修を行っています。また、受講した住宅事業者の名簿を作成し、バリアフリーリフォームを考えておられる消費者に紹介しております。（４）電話番号：045-664-6896FAX番号：045-664-9359（５）http://www.machikyo.or.jp |
| 一般社団法人日本民営鉄道協会 | （１）日本民営鉄道協会は、多くの人々の生活と密着している鉄道を、より安全で便利なものにすることを目的として設立された一般社団法人です。鉄道や軌道の安全性向上、利便性向上が国民のみなさまの生活向上につながると考え、安全・安心対策、環境活動の徹底や鉄道整備の強化活動などを推進しています。（２）民鉄各社では、バリアフリー法の基本方針によるバリアフリー整備目標を踏まえ、駅等のバリアフリー化を推進しています。（４）電話番号：03-5202-1406FAX番号：03-5202-1412（５）https://www.mintetsu.or.jp/index.html |
| 一般社団法人神奈川県タクシー協会 | （１）一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー・ハイヤー事業）の経営者団体（２）ユニバーサルデザインタクシーの導入を進め暮らしを支えるネットワークとして、少しでもユニバーサル社会活動に貢献でるよう努力して参ります。（４）電話番号：045-241-3577FAX番号：045-241-3581（５）<http://www.taxi-kanagawa.or.jp/> |

２　本ページの今後の運用について

〇　第21回県民会議終了後に上記内容の公開を予定しています。

〇　今後ホームページに掲載されている情報を更新したい場合、新たに団体の紹介を掲載したい等ございましたら事務局あてにご連絡ください。